

あま市公共施設再配置計画(素案)のパブリックコメントの結果について

●意見募集の期間 平成30年12月19日から平成31年1月17日まで

●意見を提出された方 5名 ●意見数 22件

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
1	<p>素案資料1ページの「あま市公共施設等総合管理計画」には公共建築物とインフラ施設とが記述されていますが、今回の個別施設計画の作成に関しての「公共施設再配置計画」ではインフラ施設について検討されていないのはなぜですか。特に施設総量が特別大きい道路と上水道管路について検討されていないのはおかしいと考えます。</p>	<p>公共施設再配置計画は、公共建築物についての個別施設計画になりますので道路や上水道管路の都市基盤施設については対象外としております。都市基盤施設については、総量の削減が原則困難であることから、予防保全型の維持管理コスト削減を図り、公共施設再配置計画とは別に事業計画と合わせて一体的に検討します。</p>	<p>案P67(10) 上水道施設のウ再配置方針を「上水道施設については、再配置計画とは別に、事業計画と合わせて一体的に検討します。」に修正し、ロードマップを削除します。 案P68(11) 下水道施設のウ再配置方針を「下水道施設については、再配置計画とは別に、事業計画と合わせて一体的に検討します。」に修正し、ロードマップを削除します。</p>
2	<p>素案資料63・64ページで「現況3庁舎」について第I期に統合解体とされていますが、新庁舎建設に取りかかっている現在でもまだ具体的な方法が示されていません。近くにあり、グラウンド・教室に空きのある「七宝北中学校」の有効活用を含めて早期に検討し、内容を市民に公表すべきです。</p>	<p>公共施設再配置計画において、現況の3庁舎につきましては、統合解体後の利活用を利活用検討委員会に諮り検討します。学校の有効活用等頂いた御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>	-
3	<p>素案資料76ページの「体制の構築」・「フォローアップ」は計画策定よりも重要な「計画の実行管理」・「進捗状況の把握確認」・「進捗結果による見直し」等を長期のV期50年間に亘って行う重要な組織・方法を記述する部分であり素案での検討・記述では内容不足です。計画実行をそれぞれの「施設所管課」に任せるのではなく、計画実行を50年間継続所管する専門部門を作ることが必要です。</p>	<p>公共施設再配置計画策定後については、企画政策課、総務課、財政課や公共建築物・インフラ施設の所管課と連携を図り計画を進め、企画政策課において、計画の進捗状況等の確認を毎年行う予定をしております。また、計画を着実に遂行していくためにも、一元的な管理体制を行うことができるような専門部署についても引き続き検討していきます。</p>	<p>案P74ア全庁的な体制の構築「計画を推進する体制を構築します。」の後に、「合わせて、再配置を推進するためには、様々な調整や専門性が必要となることから専任部署の設置についても検討していきます。」を追加します。</p>

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
4	意見1で述べました「市道」については、昭和の時代に定めた都市計画道路の整備が進んでない現状と理解しています。現況の道路・橋梁の維持管理だけでも多くの経費が必要ですので、道路の新設・拡幅は現状及び今後の社会情勢をふまえて見直す必要があります。	道路や橋梁といったインフラについては、今回の計画では対象外としておりますが、今後見直しをしていく中で所管課と連携をしながら進めてまいります。	—
5	61ページ及び62ページにおいて、作業所について「民活」と記載があるが、「民活」とはどういったことを行うのか？また、並行して民間法人による障がい者福祉サービス施設の市内誘致を進めるとのことだが、市内誘致が進まない場合は、集約移転とあるが今ある作業所は統合するのか？統合するのであれば、作業所を利用できなくなる人が出てくるのではないのか？現在は事業所を自己選択し契約をして利用できる時代です。市内誘致の際に今の事業所に残るか、あるいは誘致されるであろう事業所に行くかというニーズ調査をするというのは、現行のシステムの中ではとても矛盾しています。少なくともどのような事業所であり、どのような方向性を掲げているかを明示しない限りニーズ調査は意味がありません。	「民活」とは、民間の活力を活かし、指定管理や民営化をおこなうことを言います。今ある作業所については、ひまわり作業所に集約します。集約していくためにも利用者及び保護者に対して意向を確認し、利用者を最優先に考慮し、良質かつ適切なサービスが提供されるよう努め、官民連携のもと安心して通える場所の確保をいたします。また、市内誘致を進めるためにも利用者等の意向調査や民間企業の意向も確認しながら進めてまいります。	—
6	七宝公民館の機能が複合化し、建物が解体するにあたり現在の読書室はどこへ移動するのか。また蔵書はどうなるのか。	公共施設再配置計画では、全市的な公共建築物の再配置に向けた方向性を示す計画となっております。個別の公共建築物及び機能につきましては、再配置方針等に則り市として計画を推進する体制を構築し対応してまいりますので、七宝公民館にある読書室については、美和図書館や甚目寺公民館図書室の機能との統合を含め検討していきます。	—

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
7	甚目寺公民館の機能が複合化し、建物が更新するにあたり図書室機能は残るのか。	公共施設再配置計画では、全市的な公共建築物の再配置に向けた方向性を示す計画となっております。個別の公共建築物及び機能につきましては、再配置方針等に則り市として計画を推進する体制を構築し対応してまいりますので、甚目寺公民館にある図書室の機能については、美和図書館や七宝公民館読書室の機能との統合を含め検討していきます。	—
8	美和文化会館は、図書室、シルバーカレッジなど複合施設だと思う。P41に図書館の建物はⅡ期に改修とあるが、P39の美和文化会館の建物はⅢ期に解体となっている。図書館機能の施設部分だけ残し単館とするのか。	美和文化会館と図書館について分けて残すことは難しいため、図書館については、文化会館の解体に伴い、方針について検討していきます。 また、美和図書館の改修時期と美和文化会館の解体時期が異なっていたことから、時期をⅢ期に統一し改修及び解体について一括に検討していきます。	案P39ウ再配置方針を「経過年数が50年を迎える第Ⅲ期に美和文化会館（文化の杜内）の解体に合わせ、他の図書室との統合も含め検討します。」に修正し、その後に「それに伴い既存の建物は解体を基本方針とし、利活用検討委員会に諮り、利活用を検討します。」を追加します。また、ロードマップ内美和図書館（文化の杜内）第Ⅲ期の「更新」を「解体」とします。
9	図書室の改修をする時に、あま市の中央図書館とする構想はあるのか。七宝公民館読書室（現在）と甚目寺公民館図書室は中央図書館の分室となる可能性はあるのか。	公共施設再配置計画において中央図書館とする計画はありません。美和図書館については、さらなる図書館の機能の充実を図っていきます。 また、現状においても美和図書館、七宝公民館読書室及び甚目寺公民館図書室では図書の貸し出し及び返却について連携を図っております。	—

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
10	<p>子育て支援系施設の母子通園療育施設を3園を1園に統合となっているが、この施設は「母子療育」は専門性の高い施設なので、1園にすることのデメリットは大きい。→1園だけでなく、多機能で専門性の「質」の高い施設、センター機能をもった「核」となる施設になってほしい。建物（外側の箱）だけの計画案かもしれないが、用途によっては、中身（事業内容）が、重要視される建物もあると思います。関係部署との連携をお願いいたします。</p>	<p>ここにこ園、きらきら園、ほのぼの園の3園を1園に統合することで、より質の高いサービスを提供できると考えております。統合後は御意見にございますように「核」となるよう施設の整備など関係部署と連携を図りながら、母子通園療養施設の充実に取り組んで参ります。</p>	—
11	<p>学校教育関係は、児童館との連携も必要だと思う。児童クラブ（保護者が仕事で預かりをしている子供たち）は、学校の空き教室を利用して、児童クラブを利用できると、移動の面でも安全であると思う。</p>	<p>現状も一部の児童クラブにつきましては、学校の余裕教室を利用して実施しております。地区の子ども達を地区で見守るためにも、教育委員会と連携を図りながら、引き続き学校の余裕教室を利用し、今後は御意見にあるようより多くの児童クラブを学校へ複合化していくことを考えております。</p>	—
12	<p>子育て支援センターも1か所にしてしまうのには、利用者の負担にならないだろうか？縮小は矢も得ないのかもしれないが、乳幼児が安全に遊べて、母親の相談や情報交換の貴重な場所だと思っています。定員人数の増量や施設規模の拡大も併せて検討にいらしてほしい。コミュニティセンターなどの貸し部屋でも、定期的乳幼児が遊べる場所が開催できると、遠くのセンターまでいけない方々は、助かるのではないのでしょうか。</p>	<p>美和子育て支援センター及び甚目寺子育て支援センターを七宝子育て支援センターに統合することで機能の向上を図ります。七宝子育て支援センターを含んだ七宝高齢者生きがい活動センターの建物のうち、子育て支援に関する機能を除き他の機能は、他の施設へ統合し、七宝高齢者生きがい活動センターを新たな子育て機能の拠点とし活用することで、乳幼児及び保護者にとって貴重な場となることを期待しております。乳幼児が定期的に遊べる場所の開催については、今後の参考とさせていただきます。</p>	—

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
13	<p>福祉施設関係は、障害者の事業所を1つに統廃合し、民間の活用となっているが、あま市や近隣の協力が得られそうな事業所すべてに情報公開をし、公平に民間事業所に協力を仰いでほしい。その時は、相談事業所も一緒に情報を共有し、利用者が混乱しないように丁寧に本人のスピードに合わせて行ってほしい。利用者の親は、高齢化が著しいので、こちらも利用者同様、丁寧な支援・説明が必要になります。現在、利用している方々は、今後加齢に伴い様々な不便が生じることと思います。そのことも、考慮して再編を検討して頂きたい。そして、今後利用を希望する方のためにも、現状で「満杯」で受け入れが困難にならないようにして頂きたい。福祉サービス系、障害者の施設を、色々な公共施設と同じように耐震や利用率などの数値だけでは、判断しないでほしいと思っております。安全性も大切なことは十分わかっていますが、まずは、利用している方々の安心な場所の提供から進めてほしいと思っております。</p>	<p>市の作業所の御利用者及びその御家族に対して、施設の現状や今後起こり得る状況について引き続き説明するとともに、民間施設の活用についても十分な説明を行いたいと考えております。利用者等の御意向を確認したうえで、社会福祉法人をはじめとした民間法人による障がい者福祉サービス施設の市内誘致や市の施設の集約化を進めてまいります。</p>	—
14	<p>図書館・資料館はすべてを1つに集約してもよいと思います。図書館は、多機能で使いやすさを重視してほしい。幼児が、声を出してもよい場所。自習室として静かに勉強したい人の場所など、エリアを分けて気軽に本と親しみを持てる場所になってほしい。駅周辺に図書スペースがあってもいいと思います。</p>	<p>資料館については、最終的には1つに集約することとしております。図書館については、公民館や体育館と併せて複合施設とする時に図書館、図書室、読書室の機能の整理や市民ニーズ、社会情勢等を考慮した新たな機能の追加など機能面の充実も含め、良質かつ適切なサービスが提供されるよう検討していきます。</p>	—

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
15	<p>保健センターは幅の広い方々の利用の場所なので、多機能でスペースが充分確保できるようにしてほしい。</p>	<p>保健センターについては、第Ⅱ期にあま市全体で1つの保健センターとして統合します。それに伴い市民ニーズや社会情勢等を考慮した新たな機能の追加など機能面の充実も含め、良質かつ適切なサービスが提供されるよう検討してまいります。</p>	—
16	<p>すべての施設においてだが、複合となると集まる人数もイベントによっては、駐車場の確保の問題も含まれてくると思います。近隣の住民から苦情が出ないように、初めから駐車場のことも念頭に置いて、再編を計画してほしい。</p>	<p>更新等により新たに建設する場合においては、利用者等の駐車場の確保なども考慮してまいります。 また、近隣の住民にも十分配慮してまいりたいと考えております。</p>	—
17	<p>福祉施設などは、ごく限られた方の利用です。対象になる方が、少ないこともありますが、利用している方々にとっては、「大切」ない場所です。そのことも十分考慮して頂きたいと思えます。高齢者、弱者、障害者、乳幼児などが住みやすい地域は、どんな方々にも住みやすい街になると思っています。</p>	<p>福祉施設に限らず、公共建築物の維持管理の効率化などを進め、最適な配置に努めるとともに、施設を利用される方への負担が極力少なるよう努めてまいりたいと考えております。また、良質かつ適切なサービスが提供されるよう機能面の充実に努めてまいります。</p>	—

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
18	<p>この地域は、どこに行くのにも「車」の移動手段がないと不便な地域です。統廃合により、不便を感じる住民はいるとおもわれる。そのため、移動手段なども考慮に入れて、統廃合をしていかないと「誰もが住みやすい あま市」に、なっていってほしいと思います。あま市担当課だけでなく、それぞれ関連した部署との連携のもとに、この計画が進行し「統廃合されたけど、以前よりは…よくなった」との声が聞こえてくるような、統廃合や縮小・充実にしてもらいたいです。</p>	<p>あま市巡回バスを始めとした様々な交通体系の充実をはかりながら、市にとって最適で持続可能な公共交通体系の構築を進めてまいります。 公共施設再配置計画の推進に当たり、市として課題等に取り組み、検討していきます。</p>	—
19	<p>計画は最終的には50年先を見据えたものとなっていますが、50年先まで本当にこの通りに実行されるのか疑問があります。少なくとも直近5年間程度について、具体的な実行案を示していただきたいです。 また、実行しながらPDCAサイクルを回し調整をしていくものと思われそうですが、検証や計画の修正は誰の手によって行われるものなのでしょうか。</p>	<p>計画については、50年間という長期の計画のため、地域の実情、社会情勢の変化などに対応して5年から10年を目途に計画の見直しを行います。PDCAサイクルによる検証及び計画の修正については、庁内検討会議や経営戦略本部会議を始め、有識者を交えた策定委員会の中で行っていきます。</p>	—
20	<p>建物の管理の譲渡や統廃合について、下記の疑問と意見があります。 ・地区の市民へ管理を移管する場合、管理主体者の決定などはどのようにするつもりでしょうか。市民による管理は現実的に可能なものでしょうか。 ・文化施設については、建物だけでなくソフト面の企画もできる民間事業者への管理委託が適切かと考えます。</p>	<p>地区への譲渡としている施設については、管理主体者の決定も含め地区との話し合いの中で決定していきます。ただし、譲渡と評価したものであっても管理することが難しいという場合については、解体を基本とします。また、文化施設については、複合化をする時期に併せて民間事業者への指定管理等についても検討していきます。</p>	—

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
21	<p>計画を見ると、福祉、教育など各分野ごとに均等に削減がなされているようにも見受けられます。施設の配置は、あま市の抱える課題や将来ビジョンの方向性に基づいて検討されるものと考えます。まちづくりの方向性と今回の計画の内容はどのように関連しているのでしょうか。</p>	<p>公共施設再配置計画は、各分野ごとに均等に削減しているのではなく、施設機能や利用状況を踏まえた一次評価、公共性や立地特性を考慮した二次評価、そして市の政策や地域の実情に応じた総合的な最終評価をしたうえで策定したものです。また、この計画は持続的な行財政改革を推進するまちをつくるとという第1次あま市総合計画に基づいた計画となっております。</p>	—
22	<p>施設が統廃合される一方で、あま市に現在不足している施設（プールなど）、新規に施設を設置する予定はないのでしょうか。</p>	<p>上位計画であるあま市公共施設等総合管理計画において、施設の統廃合につながる場合を除き、新規の施設整備は原則として行わないこととしておりますので、新規の施設整備は予定しておりません。</p>	—